

# 酒田市環境保全実行計画 平成 19 年度年次報告書

## 酒田市役所の取り組み

市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの量を削減し、環境への負荷を低減するために「酒田市環境保全実行計画（平成 18 年 3 月）」を策定しました。

全施設で省エネに取り組むことで、平成 18 年度から 22 年度までの 5 年間の温室効果ガス排出量を平均で 5% 削減（基準年：平成 16 年度）することを目指します。

また、物品等を購入する際に環境に配慮したものを選択する「グリーン購入」を推進していきます。

### 酒田市役所の目標

「温室効果ガスの排出量を 5% 削減します。」  
（基準年：平成 16 年度）

「グリーン購入を推進します。」

## 地球温暖化について

産業革命以降、私たち人間の活動が原因で大気中の温室効果ガスが増加し、地球温暖化が懸念されるようになりました。

地球温暖化がすすむと、生態系の変化、豪雨や干ばつの増加、海面上昇による海岸侵食、水資源や農業生産の減少などの問題が心配されます。

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりが省エネをはじめとして温暖化防止活動を実践し、温室効果ガスの排出量を削減することが必要です。



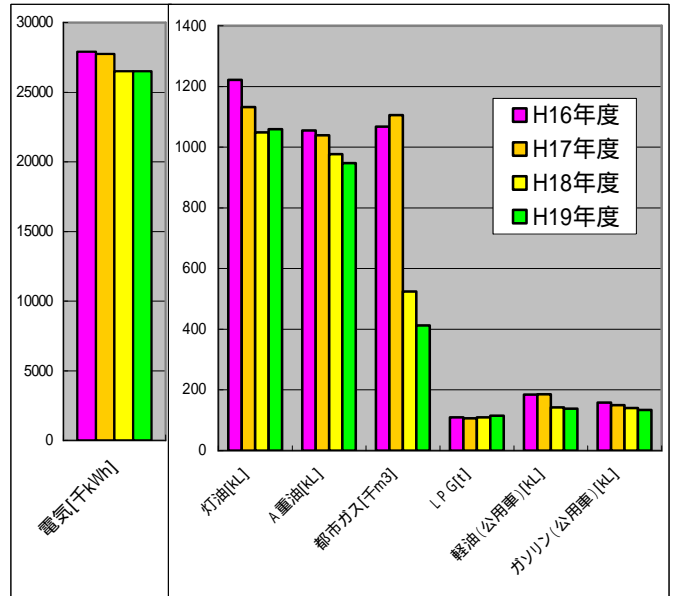
## 市役所の燃料使用量

19 年度の市役所の燃料使用量は、16 年度比で電気が 5%、灯油・A 重油が 10%以上、軽油・ガソリンが 15%以上削減されました。

なお、都市ガスについては 18 年度に熱量変更が行われたことで使用量は半減しています。

19 年度の気候は 16 年度とほぼ同様であり、職員や施設利用者の省エネの取り組み効果が燃料使用量の削減に着実に繋がっているとと言えます。

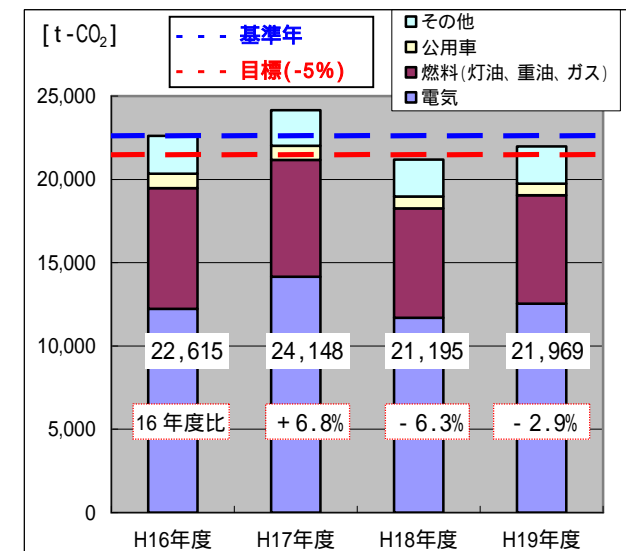
## 市役所の燃料使用量の推移（H16～19 年度）



## 市役所の温室効果ガス排出量

また、燃料使用量から温室効果ガス排出量を算定した結果、19 年度の温室効果ガス排出量は 16 年度と比較して 2.9%削減されましたが、目標の 5%までには届きませんでした。

## 市役所の事務事業から出る温室効果ガス総排出量の推移



（比較のため、19 年度までに廃止等のあった施設については 16 年度の数字から除いています。）

総排出量の削減が目標の 5%に届かなかったのは、19 年度の電気使用に係る温室効果ガス排出係数（ ）が 16 年度比で 8%増加したことが影響しています。電気については使用量を 5%削減したものの、温室効果ガス排出量としては増加し、結果、総排出量の削減率も小さくなっています。

### 温室効果ガス排出係数について

電気の排出係数[kg-CO<sub>2</sub>/kWh]は、東北電力株式会社が年度毎に公表している値(平成16年度:0.438、17年度:0.512、18年度:0.441、19年度:0.473)を用いています。

19年度は、湯水等による水力発電所の発電量減少や需要量の増加により、火力発電所の発電量が増加したため、排出係数が大きくなっています。(東北電力株式会社ホームページより引用)

また、都市ガスの排出係数[kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>]については18年度の熱量変更があった施設については、従来の0.95から2.32に変更しています。

### 平成19年度のグリーン購入実績

平成19年度は、国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、グリーン購入率は97.6%(物品の購入数を基に計算)となり、積極的にグリーン購入が推進されました。

### 目標の達成に向けて

平成22年度までの目標の達成に向けて、今後ともエネルギー使用量の節減と、環境への負荷の低減に取り組んでいきます。

特に、温室効果ガス排出量の大半を占める電気使用量については、引き続き低い水準で抑えていくことが大切です。

そして、気候に左右されやすい燃料の使用についても、クールビズやウォームビズをはじめとした冷暖房に頼りすぎない職場環境作りを推進することで、19年度と同等の使用量に抑えていくことが重要です。

また、省エネ以外の取り組みも推進します。19年7月には、家庭から出る廃食用油を新たに分別回収し、これをもとにBDF(バイオディーゼル燃料、軽油の代替として使用可)の生成を始めました。19年度は7,419LのBDFを生成し、ごみ収集車など市の公用車の燃料に利用することで軽油の使用量が抑えられています。

てんぷら油をリサイクルした  
燃料(BDF)で走っています



今後も次の様な取り組みをしていきます。市民のみならずにおかれましては、市役所の環境保全に関する取り組みにご理解とご協力をお願い致します。

### 電気

#### ・照明はこまめに消します。

休み時間や時間外など、人のいない時間帯にも注意します。

#### ・電化製品・OA機器を適正に使用します。

長時間使わない機器は電源を切るのももちろんですが、今後は待機電力の削減にも注意します。

また、パソコンなどの節電機能の設定ができる機器については、設定を有効に活用します。



### 燃料

#### ・ガス機器の使い方に気をつけます。

ガスコンロを使うとき、火力を常に最大にしているのはムダになりますので、やかんなどの大きさに合わせてこまめに調節をします。

給湯器を使用する際も、なるべく低温で行います。



#### ・冷房時の室温は28℃、暖房時の室温は20℃

冷暖房に頼り過ぎない職場環境をみんなで作っていきます。

また、カーテンやブラインドを利用し、窓からの日光や熱の出入りを調節します。

### 公用車

#### ・エコドライブで安全運転を。

時間と気持ちにゆとりを持ち、ふんわりアクセルを心がけます。

### 環境への負荷低減

#### ・ごみの減量とリサイクルの推進。

環境にやさしい製品を購入(グリーン購入)することで、循環型社会の形成を推進します。



## 地球温暖化の防止に向けて

～私たち一人ひとりが主役です～

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりがそれぞれの立場で行動していかなければなりません。



でも、最初から地球のためにがんばろうと考えると、問題が大きすぎて自分がしていることの効果も目に見えないので、長続きするのはなかなか難しいのではないかと思います。

では、例えば省エネならどうでしょうか。これなら自分のお財布にも効果が現れるので、実践したことが実感できます。

### 「やって得する、楽しい省エネ」

省エネは一度始めるとすぐにクセになります。まずははじめの一步を踏み出してみることが大切です。

次の例を参考に、みなさんと一緒に楽しみながら省エネに取り組んでみましょう。

- ・冷暖房の温度調節をこまめに。

冷房時の室温は 28 、暖房時は 20 を目安に調節しましょう。

- ・待機電力をカット。

使い終わった電気製品は主電源を切る、またはコンセントを抜く。

- ・照明はこまめに消灯する。



- ・一家団らんし、みんな同じ部屋で過ごす。

当たり前のことですが、光熱費が1部屋分しかかからなくなります。

- ・季節の食材と料理で、味覚でも季節を楽しむ。



夏には体のほてりを取る作用のある夏野菜を使い、涼しいメニューで暑さを乗り切りましょう。

冬は体の中から温まる根菜や香味野菜を使い、熱々のメニューを楽しみましょう。



- ・給湯器の温度設定はなるべく低くする。  
温度設定は変えずに水で調節していませんか？
- ・お風呂は家族が時間を空けずに続け入る。  
追い炊きの時間や回数を減らしましょう。



- ・ちょっとそこまでドライブ？  
歩いたり、自転車に乗ったりすれば、お金をかけずにメタボも改善できるかも。
- ・エコドライブを心がける。  
ふんわりアクセルでおだやかに発進するだけでかなりの省エネ効果があります。
- ・遠出の際は、なるべく公共の交通機関を利用する。  
ひとり一人がマイカーに乗るより、燃料が節約できます。マイカーの便利さもよいですが、たまにはのんびりと車窓を眺めてみましょう。



- ・外出時にはマイバッグやマイ箸を持参する。



- ・不要なものは買わない、もらわない  
ごみ減量の一番の秘訣です。
- ・ごみの分別、リサイクルの推進を心がける。  
捨ててしまえばごみですが、正しく分別すればまだまだたっぷりな資源です。
- ・「もったいない」は今や世界の共通語です。  
日本で生まれた「もったいない」ということばを、日本に住んでいる私たちがもっと大切にしたいものですね。

-酒田市環境保全実行計画 平成 19 年度年次報告書-

<お問い合わせ>

〒998-0104

山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地

酒田市環境衛生課

TEL:0234-31-0933 FAX:0234-31-0932

E-mail:kankyo@city.sakata.lg.jp